



学研・教科の研究

# 体育・保健体育 ジャーナル

2022.10  
第18号  
Gakken

テクノロジーを活用し、AAR Cycleを駆動させよ！  
～不易と流行、体育授業のハイブリッドを目指して～ 久保賢太郎 …… 1

運動部活動改革の動向について …… 4

ICT実践レシピ Vol.4 …… 6

体育・保健体育と日常をつなぐ 保健室ギャラリー 第2回 …… 7

with Sports 池田省治さん (株) オフィスショウ代表取締役/日本サッカー協会施設委員会委員 …… 8

体育・保健体育に関する情報や、授業のヒントなどをお届けしてきた『小学校体育ジャーナル』、『中学校保健体育ジャーナル』は、合本となり『体育・保健体育ジャーナル』として生まれ変わりました。小学校、中学校の枠組みを越えて、系統性を踏まえた指導が重視されている今日に対応し、これまでよりもさらに充実した内容で、指導や子供たちの学びに役立つ情報をお届けしてまいります。

## テクノロジーを活用し、AAR Cycleを駆動させよ！

～不易と流行、体育授業のハイブリッドを目指して～

東京学芸大学附属世田谷小学校 教諭 東京学芸大学大学院連合学校教育学研究所博士課程 ● 久保賢太郎

### 1 OECDのLearning Compass 2030が掲げる「AAR Cycle」

新しい学習指導要領では、生きて働く「知識・技能」の習得、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」等の育成、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性」の涵養という、3つの資質・能力を育成することが求められています。これに向けて重視されているのが「主体的・対話的で深い学び」という視点による授業改善ですが、その実現を目指す上でOECDのLearning Compass 2030が掲げる「AAR Cycle」は非常に示唆的です。

AAR Cycleとは、Anticipation (予測) –Action (実行) –Reflection (振り返り) の頭文字を取ったもので、それらを学習者が反復的に繰り返す(Cycle) 学習プロセスです。ここでいうAnticipationとは、

「未来を先取りして体験し、シミュレートする」能力のことを、またReflectionとは、「体験と体験を結び付ける、物事の関係の理解を深める、思考を改善する」能力のことをいいますが、最も重要なことは、このAAR Cycleを駆動させる主体は学習者であるということです。

### 2 学習者がAAR Cycleを駆動させる場面

ここで、学習者がAAR Cycleを駆動させる場面について考えてみたいと思います。先日、こんなことがありました。小学校2年生を対象に、「色の三原色」を使って自分の色水を作ろう、という実践をしたときのことで、用意された3種類の色水を、少しずつ混ぜ合わせながらオリジナルの色を作り出そうとする子



どもたち。まずは適当に混ぜていくのですが、なかなか思い通りにできません。そこで、一度作業を止めさせ、「色の三原色」という原則について子どもたちに伝えました。すると、「じゃあこの色とこの色を混ぜたら〇〇色になるかな?」、「□□色を作るには、これくらい混ぜたらできそうかな?」など、子どもたちは見通しをもって活動するようになりました。探究したい対象がはっきりしているときには、他者との相互作用も自然と多くなります。「それどうやって作ったの?」といった問いかけから、新たな見通しをもつ児童も増えていきました。すると、思いも寄らない色ができるケースも見られるようになってきました。「どうしてこの色になったんだろう?」と、必要に応じて教師が問いかけ、それをもとにReflectionをしていきます。「この色の量が少し多かったんじゃない?」「あ! そっか! 確かに」。そのような語りの中で、「物事の関係や理解を深め」たり、「体験と体験を結び付け」たりしながら、色についての理解を再構築していくのでした。

この事例から、AAR Cycleについて、以下の2つのことがわかるのではないのでしょうか。1つ目は、AAR Cycleを学習者が駆動させていくためには、-彼らが必要だと思えるタイミングで-探究する事柄に関する情報が必要だ、ということです。2つ目は、Reflectionの意味するところは、いわゆる「反省」とは異なる類のものである、ということです。むしろ、事柄と事柄、体験と情報、感覚と事実などをつなげ、そこから新たな思考を生み出したり、教訓的帰納の役割を果たしたりするのが、ここでいうReflectionであるように思われます。その意味では、AAR Cycleは、セクション化された学習活動として「やらされる」ことというよりも、それらがシームレスにつながっている状態をいうのかもしれませんが。

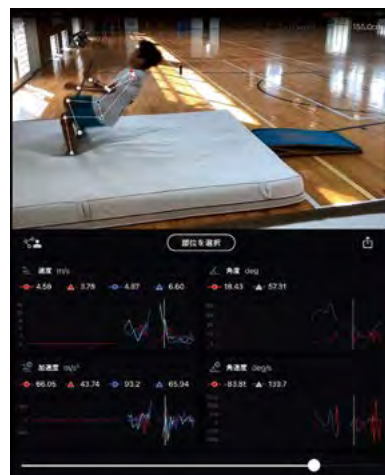
### 3 運動学習におけるAAR Cycle

では、体育学習でAAR Cycleを駆動させるためにはどうしたらよいのでしょうか。そもそも運動学習は、AAR Cycleを駆動させやすい領域であるとは

思います。「わかる・できる」ようになる過程での試行錯誤の中で、前述の色水作りのような Cycleをたどった経験のある方は少なくないのではないのでしょうか。ただ、運動学習において、例えば器械運動では、自分の運動感覚と実際のパフォーマンスとの間にずれが生じたり、またボール運動においては相手・味方・ボールという三<sup>すく</sup>竦みの中でどうしてよいかわからなかったりする場合があります。このように、探究するための「見通し」をもつことが難しいのが、運動学習の特徴であるように思います。

## 4 アプリを活用した探究学習

そこで、本校で実施されているLaboratory（自分の興味・関心のあるテーマについて、自ら問いや課題を立て、探究していく活動領域）の時間で、筆者が担当するSports Lab. に所属する子どもたちを対象に、「SPLYZA Motion」というアプリを活用した探究学習を行っています。SPLYZA Motionによって、タブレット端末で撮影した動作が、AIによりすばやく解析され、モーションキャプチャーとして見えるようになります。さらに、関節の開き具合や体の各部位の速度なども即座にデータとして表示されます。このアプリを活用することで、自分の動きに関する情報を手に入れ、自分の感覚と実際の動きとのずれに気が付きやすくなったり、自分の目指す動きをしている他者のモーションキャプチャーと自分のそれとの比較をしたりすることが容易となりました。



◀SPLYZA Motionの動作解析画面。下段では速度や角度などが数値化され、グラフとして表示される

このSPLYZA Motionを活用してハンドスプリングに挑戦をしているA児は、目標とする動きと自分の動きをモーションキャプチャーで比較しました。すると、自分の腰がモデルよりも曲がってしまっていることに気付きました。「だからお尻から落ちるのか」、こうつぶやいた瞬間に、次にどうしたら体が反るのかを考えます。「足を先に着く感じでやってみたらいいんじゃないの？」一緒に取り組むB児がアドバイス。実践してみると、だんだんと体が反ってきました。「いや、足から着くというよりも、お腹を突き出す感じだわ！腹筋が伸びる！」、まさにAAR Cycleを駆動させながら、自ら学びを深めていくA児と、それに触発されて自分のパフォーマンスに生かそうとするB児。驚いたのはその後です。体を反りすぎると、今度は頭が後ろに残ってしまい、立ちにくいと言うのです。では今度はどうやって頭を前にもってくるか……、探究が続いていきました。



▲ SPLYZA Motion を使い、自分の動きを確認する児童

このSPLYZA Motionとは別に、「SPLYZA Teams」というアプリも存在します。このアプリでは、撮影した動画にタグ付けをすることができ、そのタグの数や割合などを瞬時に計算することができます。例えば、ボールゲームの場面を撮影し、「Aさんにパス」「Bさんにパス」などとタグ付けをすれば、誰がパスをいちばん多く受けているのか、などがすぐにわかるのです。また、動画にコメントを入れることもできるので、自分たちの考えた作戦がうまくいったのかどうか、いかなかった場合はどのような原因があるのか、などといった内容についてコメント

をしておくことができるのです。Sports Lab.では、サッカーの欧州トップクラブの戦術分析をしている児童がいるのですが、試合を見ながらどんどんタグ付けをしていました。すると「先生！わかった！カウンターをするチームの共通点がわかった！」と突然興奮しながら伝えにきてくれました。「今度発表するから待ってて！」そう言って、さらに分析を進めるC児とD児。本稿執筆時点では、まだその謎は明らかにされていませんが、どのような報告がなされるのか、一人のサッカー好きとして楽しみでなりません。

## 5 おわりに

このように、テクノロジーを使って、動きを可視化する、客観的なデータにする、AAR Cycleを駆動する上で必要となる情報を得る、といったことが、非常に容易に、しかも即座にできるようになりました。色水の例からもわかるように、主体的に学ぶ、ということは、「放任すること」とは違います。むしろ、AAR Cycleを駆動する上で必要となる情報や先人の知恵を、**学習者が必要だと思う文脈で気付かせたり、提供したりすることは欠かせません。**それらを活用しながらさらにAAR Cycleを駆動するからこそ、思考力が発揮されるし、生きて働く知識や技能として染み付いていくのだらうと思います。

体育科の指導では、これまでも諸先輩方の手によって、「心電図調査」、「手形足形」、「田植えライン」など、運動の「見える化」を企図した優れた実践が生み出されてきました。テクノロジーを使って、そうしたことが容易に、即時にできるようになってきましたが、一方で単にそれを「使えばよい」わけではなく、むしろそれを手段として用い、より深い探究、相互啓発的な学びの実現を目指さなくてはなりません。そんな「今」だからこそ、私たちは改めて、先人の実践に学び、目指す運動イメージの共有や課題の焦点化、課題の探究を保障する学習環境デザインなどといった、よい授業の「不易」に学び、「流行」によってそれを加速させる、「ハイブリッド」な授業づくりを目指していく必要があるのかもしれない。

# 運動部活動改革の動向について

Gakken 編集部

昨年度より、運動部活動の地域移行の議論が活発になっています。各種報道で、さまざまな先行事例や課題点などが取り上げられていますが、議論が具体化するにつれ、もともとのねらいや、これまでの経緯といまのような状況にあるかといったことがつかみにくくなってきました。

この記事では、文部科学省やスポーツ庁、日本中学校体育連盟などのこれまでの経緯や最近の動きを整理し、お伝えします。(以下、組織名などは発表当時)

## 資料1 運動部活動改革の経緯

平成30年3月(スポーツ庁)  
「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」

生徒のスポーツ環境の充実の観点から、学校や地域の実態に応じて、スポーツ団体、保護者、民間事業者等の協力の下、学校と地域が協働・融合した形で地域におけるスポーツ環境整備を進める。

平成31年1月(中央教育審議会答申)  
「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について」

地方公共団体や教育委員会が、学校や地域住民と意識共有を図りつつ、地域で部活動に代わり得る質の高い活動の機会を確保できる十分な体制を整える取組を進め、環境を整えた上で、将来的には、部活動を学校単位から地域単位の取組にし、学校以外が担うことも積極的に進めるべきである。

令和元年11月(衆議院)、12月(参議院)  
公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法の一部を改正する法律案に対する付帯決議

政府は、教育職員の負担軽減を実現する観点から、部活動を学校単位から地域単位の取組とし、学校以外の主体が担うことについて検討を行い、早期に実現すること。

令和2年9月(スポーツ庁)  
「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」

休日の部活動における生徒の指導や大会の引率については、学校の職務として教師が担うのではなく地域の活動として地域人材が担うこととし、地域部活動を推進するための実践研究を実施する。その成果を基に、令和5年度以降、休日の部活動の段階的な地域移行を図るとともに、休日の部活動の指導を望まない教師が休日の部活動に従事しないこととする。

令和3年10月(スポーツ庁)  
「運動部活動の地域移行に関する検討会議」設置

## 資料2 「運動部活動の地域移行に関する検討会議」の概要

### 趣旨・目的

令和5年度以降、休日の部活動の段階的な地域移行を図ること等を踏まえ、運動部活動の地域への移行を着実に実施するとともに、地域におけるスポーツ環境を整備し、子供たちがそれぞれに適した環境でスポーツに親しめる社会を構築することを目的として、運動部活動の地域における受け皿の整備方策等について検討する。

### 主な検討事項

- 1) 地域における受け皿の整備方策
- 2) 指導者の質及び量の確保方策
- 3) 運動施設の確保方策
- 4) 大会の在り方
- 5) 費用負担の在り方等

※検討対象は主に中学校の部活動とする。

令和4年7月をめどに提言をまとめる。

(資料1、2:経済産業省、スポーツ庁の資料を参考に作成)

上記の資料1、資料2のような経緯で、

- ・生徒のスポーツ環境の確保
- ・そのための地域単位への取組への移行
- ・学校(教師)の働き方改革

を中心に議論が進みました。令和5年度以降の段階的な地域移行を念頭に、令和4年度には、「子供のス



スポーツ機会確保・充実に向けた運動部活動改革の加速化」の予算が3億円から14億円の増額されました（資料3）。

資料3 「子供のスポーツ機会確保・充実に向けた運動部活動改革の加速化」の事業概要

地域における新たなスポーツ環境の構築に向けた基盤整備	
休日の地域におけるスポーツ環境の整備 充実（地域運動部活動推進事業）	2億2,900万円
令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行の着実な実施に向けて、地域におけるスポーツ活動の運営団体や指導者の確保方策や、費用負担の在り方の整理などの課題に総合的に取り組むために、全国各地の拠点校（地域）において実践研究を実施し、研究成果を普及・発信する。	
合理的で効率的な部活動の推進（地域運動部活動推進事業）	2,300万円
地域の実情を踏まえた都市・過疎地域での合同部活動や、ICT活用による短時間で効果的な活動の推進に向けた実践研究を実施する。	
中学校における部活動指導員の配置支援	10億8,000万円
教員に代わって、部活動の指導や大会引率を担うことにより、生徒のニーズを踏まえた充実した活動とするとともに、顧問教員の部活動における負担軽減を図るため、運動部に対する部活動指導員の配置を支援する。【約10,000人】	
子供にとって望ましい大会の推進	
子供の視点に立った大会の在り方に関する調査・実践研究（地域運動部活動推進事業）	1,100万円
令和5年度以降を見据え、学校単位に限らず、生徒の多様なニーズに対応できる大会形式や大会規定等の在り方を検討するなど、子供にとって望ましい大会の推進に向けて、調査・実践研究を実施する。	
多様なニーズに対応した中学生年代の都道府県大会の創設・開催支援	2,000万円
競技志向ではない生徒についても、活動の成果発表の機会が確保されるなど、中学生の多様なニーズに対応した都道府県大会を創設・開催する競技団体に対して、必要な経費の補助を行う。	
あらゆるチーム・個人が参加できる中学生年代の競技別全国大会の開催支援等（中学校・高等学校スポーツ活動振興事業）	7,600万円
地域スポーツ活動に参加する生徒についても、多様な成果発表の機会を確保・充実する観点から、中学生を対象とした全国大会の開催に係る必要な経費について、開催都道府県に対する補助等を行う。	

（資料3：スポーツ庁の資料を参考に作成）

このうち特に、「子供にとって望ましい大会の推進」に関しては、大会参加の在り方と参加資格緩和などについて、「運動部活動の地域移行に関する検討会議」で議論が重ねられ、それを踏まえて令和4年6月6日に「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言」が出されました。

大会の参加資格緩和等については、日本中学校体育連盟より、各都道府県中学校体育連盟に会長宛て文書として、令和4年3月9日に「運動部活動の段階的な地域移行に関わる地域スポーツ団体等の全国中学校体育大会の参加資格緩和について」が出され、次いで、令和4年6月14日に「全国中学校体育大会への地域スポーツ団体等の参加資格について」が出されています。

また、令和4年7月26日には、スポーツ庁から、日本スポーツ協会、日本中学校体育連盟、日本スポーツ安全協会に対し、「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言を踏まえた対応について」という要請が出されました。

ここでは、

1. 地域におけるスポーツ活動の実施主体について
  2. 地域におけるスポーツ指導者の質の保障・量の確保方策について
  3. 大会の在り方について
    - (1) 地域のスポーツ団体等に所属する生徒の大会参加機会の確保
    - (2) 今後の大会の在り方
    - (3) 大会に参加する生徒の安全確保
    - (4) 大会引率や運営に係る教師の負担の軽減
- についての取組が求められました。

部活動の地域移行に関しては、運動部活動のみならず、文化部活動についても、令和4年8月9日に文化庁より「文化部活動の地域移行に関する検討会議提言」が出されました。生徒数の減少による活動の場の減少、学校（教師）の働き方改革という点で、部活動あるいは学校の教育（課外）活動全体で考える必要性が認識されてきているといえます。今後も、さまざまな検討や調査・研究結果などを踏まえつつ、令和5年度以降に向けて、変革を求められることが多くなることが予想されます。

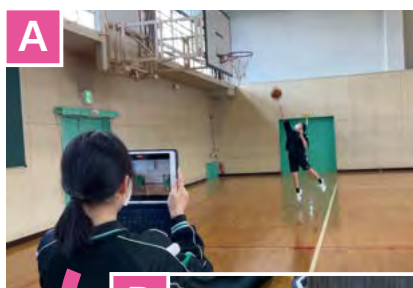
GIGAスクール構想により児童生徒1人につき1台の端末が配備されたことを受けて、すぐに授業に取り入れられるおすすめのICT活用法をお聞きしました。



大阪府摂津市立第五中学校 中井 果奈 先生

# 主体的な学びと指導のための「学習カード」の活用

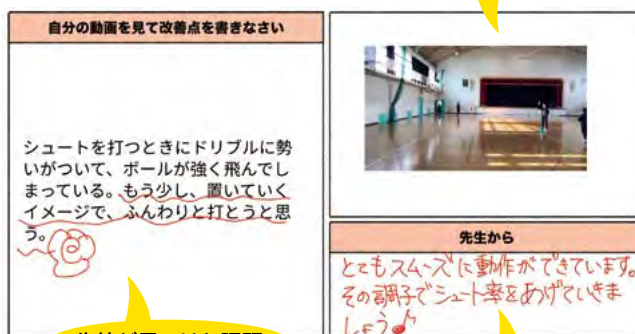
学年 2年 分野 体育 領域 球技 単元 バスケットボール



撮影した動画を学習カードに添付して提出

使用端末：iPad  
使用ソフト：ロイロノート・スクール

▼提出された学習カード



添付された動画

生徒が見つけた課題

教員からのアドバイス

生徒は撮影した動画を学習カードに貼り付けて振り返りを行うことによって、何度も動画を見返し、自身の動きの課題を考えるきっかけにつながりました。

また、教師は授業後に生徒が提出した学習カードにアドバイスを記入し、返却することによって、その場でアドバイスができなかった生徒の様子や進捗状況も知ることができました。

他にも友達動画をロイロノートで共有し、もっとよくなる場所を書き出し送り合うことを行ったり、すでに技能を習得している生徒の動画を全体で共有して比べてみたりと端末の使い方はさまざまです。

動画を撮影することに重きを置いてしまうと、活動時間が減少してしまうので、使用する場面は単元を通して限定しています。

## 活用の手順

- レイアップシュートのポイントをロイロノートで画面共有を行いながら説明する。
- 個人でレイアップシュートの練習を行う。
- お互いのレイアップシュートの動画を撮影する。(写真 A)
- 自分の動きを動画で確認したあと、再度レイアップシュートの練習に取り組む。
- ロイロノートで配付した学習カードで振り返りを行い提出する。このとき、学習カードに自分の動画を添付する。(写真 B)

保健室の掲示物には、養護教諭の先生のアイデアが満載！教材や掲示物づくりのヒントにも！

## 小学校



▲裏返すと「歯に歯こうがたまりやすくなり、むし歯さんがふえてしまうから」など、むし歯の原因が学べます。



▲別の日の掲示物です。大きな口のなかにはせっけんの箱で作ったむし歯菌がいます。歯医者に行っていない人と歯医者へ行った人の数を表示し、口腔衛生への意識を高めるために制作しました。



三重県鈴鹿市立神戸小学校  
養護教諭  
しおみ とうこ  
塩見 桃子 先生

自分の歯と口腔の健康について考えられるように、保健委員と一緒に「きみはむし歯になりやすいかな？ むし歯なりやすさチェック」の掲示物を作成しました。

チェック項目の横の笑顔の歯は、裏返すと悲しい顔になり、そこにはむし歯のなりやすさの理由が書かれています。また、大きな口の掲示物は別の日の掲示物（写真下）にも使用しました。

子どもたちは自分の生活習慣や歯と口腔の様子を振り返りながら、楽しそうにチェックしていました。保健委員の子どもたちは集中して楽しく作成し掲示物を見て満足していました。

関連⇒保健「生活行動が主要要因となって起こる病気の予防」

## 中学校



岩手県盛岡市立仙北中学校  
指導養護教諭 ささき かずこ 先生  
養護助教諭 米田 智世 先生



各クラスで好きな食べ物のアンケートを実施。先生も回答するため、クラス全体のコミュニケーションも活発に。▶

本校はいわゆるミルク給食<sup>(※)</sup>で、生徒は毎日お弁当を持ってきます。「おにぎりの日」は、おにぎりなどの簡単なお弁当を自分で作る日であると同時に、いつもお弁当を準備してくれる家族に感謝する日でもあります。頑張って作ったお弁当を紹介する場として、この掲示物を作成しました。

写真撮影は学級担任の先生が行い、それを学校保健委員会で紹介するなど、生徒・教職員・保護者を巻き込んだ活動となるよう工夫しています。

お弁当の写真を指さして、「わあ、おいしそう」、「これ作ってみたいなあ」、「おにぎりの日って、お母さんが中学生のときからやっていたんだって」と話す生徒も。来校した保護者やお客様も、足を止めてご覧になり、笑顔スポットとなっています。

関連⇒保健「生活習慣と健康」

▶生徒保健委員会が中心になり、呼びかけを行ったり、写真を貼り付けたり、アンケートをとったりと、全員が取り組むことができるように働きかけました。



※給食内容が牛乳のみである給食のこと。



## 池田 省治さん (株) オフィスショウ代表取締役 日本サッカー協会施設委員会委員

サッカースタジアムや野球場などのグラウンドを整備する“グラウンドキーパー”。季節や状況を見極めて天然芝を管理し、選手の最高のプレイを引き出す職人だ。池田省治さんは国内外の芝生管理を請け負う第一人者。池田さんと芝生との出会いや、東京2020オリンピック・パラリンピック（以下、東京2020大会）の舞台裏について聞いた。

取材・文／荒木 美晴

池田さんが代表を務めるオフィスショウは、プロサッカーチームの公式練習場や陸上競技場など全国の39面のグラウンドと、11か所の学校の校庭や園庭の芝生を管理している。東京2020大会では、新国立競技場や東京スタジアム（味の素スタジアム）、秩父宮ラグビー場などを担当。グラウンドは人間が走れば、馬も跳び、槍や砲丸も飛んでくる。池田さんたちグラウンドキーパーは、各会場でダメージを受けた芝生を丁寧に手入れし、アスリートのパフォーマンスを支えた。

グラウンドキーパーとして30年以上のキャリアを持つ池田さんも、自国開催のオリンピック・パラリンピックで芝生を管理するのは初めて。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で大会延期が決まった際は不安もあったが、「開催の可能性がある限りは準備を怠らない」と、前を向いた。

開会式では職人の知恵と技術が発揮された。ステージ設置のためフィールドの芝生はあらかじめ撤去されており、開会式が終わって設営が搬出されたその日の夜、90人ものグラウンドクルーが現場に入り、池田さんの指揮のもと、10時間をかけて、一から芝生を張っていったそうだ。

本来、芝生は畑で根や地下茎を切って収穫して会場に運搬するが、時間がかかると変色してしまう。今回は開会式のリハーサルも含めて長期間会場が使えないため、特別な管理計画を立てる必要があった。そこで、畑では根を残した状態で芝生を収穫し、そのあと別の場所に仮置きし、再収穫する方式を採用した。誰も経験したことがないチャレンジだったが、池田さんには自信があった。「私の師匠のジョージ・トーマ氏が1996年のアトランタ大会で、本番1週間前に張り替えたことがありました。今回はそれを参考にしました」と池田さん。開会式の翌日には、新国立競技場の中心に美しい芝生のフィールドができあがっていた。

アメリカの著名なグラウンドキーパーであるトーマ氏とは、1989年に東京ドームで開

- ①土を平らに整地 ②芝生を張り、根を定着させる
- ③クロスバーまでの高さを計測 ④土にする部分の芝生を削ぐ
- ⑤芝を刈り、長さ进行调整



催されたナショナルフットボールリーグ（NFL）のプレシーズンゲームで出会った。当時、イベント会社を経営していた池田さんの主な担当は運営マニュアルの作成だったが、以前にゼネコンで働いていた経験を買われ、天然芝の練習場整備にも携わるようになった。

とはいえ、これまでの芝生の仕事といえば高速道路ののり面に芝生の種を植え付けたことくらい。このときにゼロから指導してくれたのが、責任者として来日していたトーマ氏だった。池田さんは、種の種類や水やりなどの基礎から管理方法まで徹底して教わり、半年後にはNFL側も納得する完璧なグラウンドを完成させた。

その縁で、池田さんは全米最大のスポーツイベントであるNFLの最高峰「スーパーボウル」の芝のメンテナンスクルーの一員として迎えられ、全米から集まった精鋭とともに積極果敢に行動した。そこではクルーに責任と権限が与えられ、目的のために最善を尽くすプロの矜持を学んだ。ますます“スポーツターフ”の魅力に取りつかれていった池田さんは修行を重ね、それ以降もスーパーボウルのグラウンドキーパーの任務を遂行している（計23回）。そして今なお、奥の深い芝生の世界を追究すべく、技術を磨く池田さん。その背中では次代を担う後輩たちの憧れだ。

「日本にもっと、緑のオアシスを増やしたい」と、現在は日本サッカー協会のグリーンプロジェクトメンバーや東京都の小学校校庭緑化アドバイザーを務める。「例えば、イギリスの小学校のグラウンドは芝生ですが、日本はまだ土やコンクリートが多い。予算がないとか、誰が管理するのが課題なんでしょうけれど、環境と子どもの発育にとってどっちがいいのか、という話です。芝は“草の絨毯”。転んでもけがをしにくいし、何より子どもたちは芝生の上で遊ぶと笑顔になる。そういう当たり前の世界を広げていきたいですね。日本に芝生文化を根付かせるため、池田さんはこれからも精力的に活動していく。



▲ジョージ・トーマ氏（右）と

**PROFILE ● いけだ しょうじ**  
1958年、富山県生まれ。武蔵工業大学土木工学科卒業後、建設会社勤務を経て、1984年に(株)オフィスショウを設立。NFLグラウンドキーパーのジョージ・トーマ氏と出会い、芝生の奥深さに魅了され、芝生づくりの技術と精神を学んだことがきっかけで芝生に携わるようになった。スーパーボウルの23回を含めNFLの大会に60回参加。現在、34名のクルーを率いて新国立競技場、JFA夢フィールド、味の素スタジアムなど全国20か所以上のグラウンドの芝生管理に当たっている。

### 学研・教科の研究

### 体育・保健体育ジャーナル

『小学校体育ジャーナル』（通巻105号）

『中学校保健体育ジャーナル』（通巻131号）

令和4（2022）年10月発行

発行人…甲原洋 編集人…麻生征宏 発行所…株式会社Gakken デザイン…宮塚真由美 表紙オビイラスト…丸山誠司 印刷所…(株) 広済堂ネクスト

- お問い合わせは、「学校・社会人教育事業部」へ 〒141-8416 東京都品川区西五反田2-11-8 学研ビル
- 内容については▶TEL. 03-6431-1568（編集）
- それ以外は▶TEL. 03-6431-1151（販売）
- 「学研 学校教育ネット」 <https://gakkokyoiku.gakken.co.jp/>
- 「体育・保健体育ジャーナル」のPDF版および電子版は、WEBページから。



※本冊子に記載されている会社名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。  
※この冊子は、環境に配慮して作られた紙、植物油インキを使用し、CTP方式で印刷しています。